

若木さなえ 市政報告



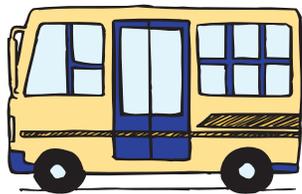
ごあいさつ

再び議会に送り出して頂き、皆さんの声が届くように精一杯頑張ります！よろしくお願いします！人間らしく輝けるまちに！

交通不便地域の足の確保策について

移動手段を確保しなくてはならない方にとってその危機は深刻で命に関わります。交通を取り巻く社会情勢は高齢化、地球環境問題の深刻化により大きく変化しています。他市でもコミュニティーバスの充実や、デマンド交通、ワゴンタクシーを取り入れる等みられ、私は、「市でも足の確保策を充実させていくべき」と全庁的な検討を求めました。

市は「今後の方向性について全庁的に検討してゆく」と答弁。しかし、住民の声の大きいくるりんバスの旧北ルート復活については「考えていない」と答え、私は「旧北ルートをなくした事で、市役所に行けない、中央図書館に行けないという声があり、知る権利や申請の権利にも関わる」と指摘し、存続を求めました。



介護が必要な高齢者が病院から早く退院、介護体制が整わない…

安倍自公内閣の改悪により、入院された方が病院から早く退院するようになってきています。介護サービスにつなげられずに困難に立たされたという相談も寄せられています。私は、「地域包括支援センターの職員体制充実」や、「連携強化」



「介護人材確保のために東京都の資格習得補助制度の周知」を求めました。市は「市内連携については「引き続き努力する」と答弁。体制については「次期計画の中で検討する」と答えました。私は、「ひっ迫した状況に対応出来るよう、すぐに検討してほしい。」と重ねて求めました。

松風橋の西側 T 字路に信号機を

「松風橋の西側 T 字路が危険なので信号機をつけて欲しい」と質問。市は「地元要望があることから警視庁が実査し、現在信号機設置を含めて検討していると伺っている」と答えました。



オスプレイ、配備撤回を求めるべき



CV 22 オスプレイが10月1日から米軍横田基地に配備され、配備前にも地域の団地上空で旋回する等、異常な事態が見られています。東京都と周辺市町が住民の安全のために情報を求め、国は米軍から情報をもらえずに基地外から観測をしている事が明らかに。なり「主権国家としてありえない。こうした現状では配備は撤回するように言うべき」と求めました。市は実態把握や情報・説明なども国がやるべきと再三要請していますが、国はやらないのが実態と指摘しました。

日米地位協定の見直しに全国知事会も提言

夜間飛行、低空飛行など、日本では航空法で禁じられている事が日米地位協定により米軍には適応されません。全国の知事会も地位協定の抜本的見直しを求める提言を出しました。又、イタリアやドイツでは国内法を適用し米軍をコントロールして

います。私は「地位協定の見直しがされなければ危険が繰り返される事になる。市として改めて要請して欲しい」と求め、市は「東京都と周辺市町の枠組みで必要な事は要請しており、不安や情報については強化に進めてまいりたい」と答えました。

国の説明は周辺住民の安心安全への懸念を払拭するには全く至っていない

総務委員会にて党議員は「これまで市が情報提供などについて再三行ってきた要請について国からの説明は回答になっていない」と指摘。市は「防衛省が説明にきた際には回答に程遠く、

十分な情報を得ていない。基地周辺の住民の安心安全への懸念を払拭するには全く至っていないと口頭で伝えている」「近日中に要請行動を行っていきたい」と答弁しました。